

くろかわ感染症情報

2024年度 第1号

今回のテーマは

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症とは？

大腸菌は、人や家畜の腸内にも存在し、ほとんどの物は無害ですが、一部は激しい腹痛・下痢や合併症を起こすことがあります病原大腸菌と呼ばれています。その中でも「**ベロ毒素**」という強い毒素を生産し、**出血を伴う腸炎や溶血性尿毒症症候群（HUS）**を起こす「**腸管出血性大腸菌**」と呼ばれるものがあります。

特徴と症状

症 状：無症状から軽度の下痢、激しい腹痛、頻回の水様便、さらに、著しい血便とともにHUS等の重篤な合併症を起こし死に至るものまで様々。

潜伏期間：3～8日と**潜伏期間が長い**ことが特徴。

感 染 力：感染力は強く、人から人へ二次感染を起こす。

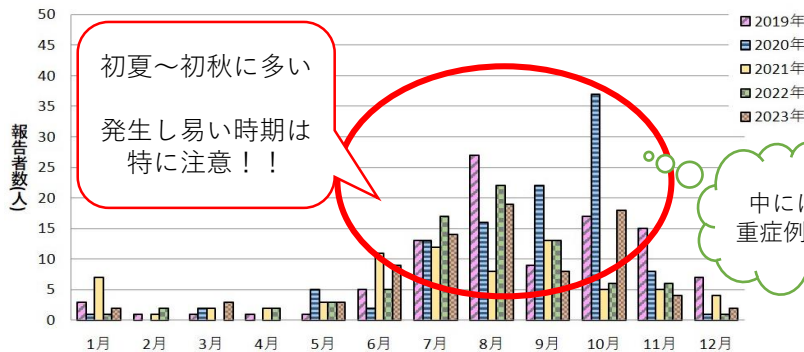
感染経路：①腸管出血性大腸菌で汚染された食物などを摂取する（**食中毒**）。

②患者の糞便に含まれる腸管出血性大腸菌が**手などを介して口から体に入る**ことによる人から人への感染。



どのくらい発生してるの？

■ 宮城県 の過去5年の発生状況（過去5年月別発生状況）



■ 黒川支所の過去5年の発生状況

R1年度	1件
R2年度	3件
R3年度	5件
R4年度	2件
R5年度	4件
R6年度	1件

毎年発生がある

7月～10月末に発生

食中毒予防のポイントとは？

- ①菌を食べ物に「**つけない**」
- ②食べ物に付着した菌を「**増やさない**」
- ③食べ物や調理器具に付着した菌を「**やっつける**」（75℃で1分以上加熱）

食中毒予防の三原則



つけない

- ・手洗い
- ・器具の洗浄、消毒



増やさない

- ・適切な温度での保管
- ・調理後は速やかに食べる



やっつける

- ・加熱殺菌

感染したかも？と思ったら...

- ・症状が出たときに早めに医療機関を受診する。
- ・患者本人も家族も十分に手を洗う。
- ・トイレの取っ手やドアノブ等、患者が直接触れた場所を中心に逆性石けんや消毒用アルコール、次亜塩素酸ナトリウム等を使って消毒する。
- ・患者はできるだけ浴槽につからずシャワーかかけ湯にする。
- ・タオルは家族と共用しない。

人から人への感染を予防する基本は「**手洗い**」です。



2024年8月21日 発行

●御意見・御質問などは塩釜保健所黒川支所までお願いいたします。電話：022-358-1111 FAX：022-358-1110

●この情報は、宮城県仙台保健福祉事務所黒川支所（塩釜保健所黒川支所）HP（<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sh-health-k/index.html>）にも掲載してあります。

●もっと詳しく知りたい場合は、宮城県公式HP（<https://www.pref.miyagi.jp/>）、宮城県保健環境センターHP（<https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/>）をご覧ください。